

日本中央競馬会 平成 31 年度畜産振興事業
未来の畜産女子育成プロジェクト事業
研修参加者・引率者 応募要領



日本中央競馬会
特別振興資金助成事業

1. 事業の目的

日本中央競馬会の平成 31 年度畜産振興事業による助成事業として、将来の農業者リーダーとなる農業高等学校生徒に、酪農が盛んで女性就農者の活躍が目覚ましいニュージーランド（NZ）の畜産を学んでいただくプロジェクトです。現地では、学校での学習、ファームステイ、視察・見学の他、酪農への就業を目指す青少年や実際に畜産に従事する女性と交流し、コミュニケーション力や英語力を高め、洗練された酪農業の現状や後継者育成の仕組みや取り組みなどを学びます。この現地研修により、将来の日本の畜産を発展させようという強い意志を持つ人材になっていただき、「畜産アンバサダー」として、自身がプロジェクトで得た知識や経験をプロジェクトに参加していない人たちと共有し、畜産の魅力を広く PR していただくことを目的としています。

2. 実施団体と研修の内容

本プロジェクトは、公益社団法人 国際農業者交流協会が実施主体となって行います。

現地研修は、ニュージーランド国のカウンターパートと協力して行います。

大きく分けて事前研修と現地研修の 2 つの研修があります。事前研修では、事業説明、現地研修のためのオリエンテーション、この間に駐日ニュージーランド大使館で現地事情の説明を受けます。

現地研修では、研修参加者と引率者の他、メンター（研修参加者をサポートし、指導する人）として日本で酪農経営に携わる女性、酪農研究者の女性の計 2 名（両名とも長期海外農業研修経験者）が同行し、研修中に直接研修参加者と接し、日本の畜産の現実と将来性や魅力を伝える役割を担います。その他、協会職員 2 名が案内役として同行します。

3. 研修の種類、場所、期間

- | | | |
|---------------------|----|--------------------------|
| (1) 事前研修（オリエンテーション） | 東京 | 令和元年 6 月 17 日（月）～19 日（水） |
| (2) NZ 現地研修 | NZ | 令和元年 8 月 19 日（月）～29 日（木） |
| (3) 研修成果報告会（帰国時に開催） | 東京 | 令和元年 8 月 30 日（金） |

4. 研修参加者（生徒）、引率者（教員）の募集

農業高等学校関連団体（全国農業高等学校長協会、全国高等学校農場協会）を通じて本事業の周知をします。

(1) 募集期間

平成 31 年 4 月 26 日（金）～令和元年 5 月 24 日（金）午後 3 時迄

(2) 研修参加者（生徒）

① 募集人数 20 名

② 応募資格

- A) 日本国籍を持ち、心身ともに健全な方。
- B) 農業に関する学科（農業科、畜産科等）を設置する高等学校で、1 年以上学んだ方。
- C) 明確な研修目的を持っている方。

- D) 英語の初歩的素養があり、英語を積極的に学ぼうという意識が強い方。
- E) 自分の考えや意見を積極的に相手に伝えることができ畜産アンバサダー活動ができる方。
- F) 事前研修、現地研修、研修成果報告会のすべてに参加できる方。
- G) 所属高等学校長の推薦が得られる方。

③ 役割

- 研修参加後に研修成果報告会で学んだことを発表します。
- 研修報告書を作成し協会に提出します。
- 研修で得た知識・経験を基に研修成果と畜産の魅力を広めるため、畜産アンバサダーとして所属高等学校内外の発表会等に参加し、研修で学んだことを広く伝えていただきます。

※研修参加者に対し、所属高等学校での畜産アンバサダー活動サポート等を行う担当教員の選出をしてください。この研修参加者担当教員は、事前研修への同行及び協会が実施する所定のプログラムに参加することができます。

(3) 引率者（教員）

① 募集人数 2名

② 応募要件

農業に関する学科を設置する高等学校において農業教育の推進に指導的立場にある方（校長、副校長、教頭、教諭等）で、事前研修、現地研修及び研修成果報告会のすべてに参加でき、以下の役割を担うことができる方。

プロジェクトの内容から、畜産を専門とする方が適しています。

③ 役割

- 事前研修や現地研修に引率者として同行し、協会職員と協力して研修参加者の指導監督を行っていただきます。
- 研修で得た情報を取りまとめ、研修報告書を作成して提出いただきます。
- 研修参加者の畜産アンバサダーとしての活動に協力いただき、プロジェクトの目的である女性就農（特に畜産業）を促す啓蒙活動に協力していただきます。
- 所属高等学校から研修参加者（生徒）がいた場合、研修参加者担当教員と引率者（教員）を兼ねることができます。

5. 応募方法と審査

応募書類を締切日時までに協会に電子送信してください。

1. 高等学校から1名のみご応募いただけます。

(1) 研修参加者（生徒）が必要な応募書類

- A) 申込書（様式1）
- B) 課題作文（様式2 題目：私が輝けるとき） A4原稿用紙2枚
- C) 画像・映像の使用ならびにメディア取材承諾書（様式3）
- D) 同意書（様式4）
- E) 所属高等学校長の推薦書（様式5）
- F) 画像・映像の使用ならびにメディア取材承諾書（様式7）

※F)様式7は、研修参加者担当教員が、事前研修や協会が実施する所定のプログラムに参加する場合、提出してください。

(2) 引率者（教員）が必要な応募書類

- A) 申込書(様式6)
- B) 履歴書 (Curriculum Vitae)
- C) 画像・映像の使用ならびにメディア取材承諾書 (様式7)

(3) 応募書類提出先

研修参加者（生徒）の必要な応募書類 A～E は、所属高等学校で取りまとめて、PDF ファイルとして E メールに添付し、以下の E メールアドレスに送信してください。

- 提出先 E メールアドレス： mirai@jaec.org
- メールタイトル：【所属学校名】未来の畜産女子育成プロジェクト申込（生徒）
- メール本文内に以下の事項を加えてください
 - ア. 研修参加者（生徒）氏名とふりがな
 - イ. 所属高等学校とふりがな
 - ウ. 研修参加者（生徒）担当教員氏名とご連絡先（緊急電話番号、E メールアドレス）

協会で E メール受信の確認をした後、申込完了の E メールを送信します。メール送信後 2 日以内（土日を除く）に受付確認メールが届かない場合には、下記「14. お問い合わせ先」まで電話にてご連絡ください。

引率者（教員）の必要な応募書類 A～C は、所属の高等学校長の同意が得られた後、PDF ファイルとして E メールに添付し、以下の E メールアドレスに送信してください。

- 提出先 E メールアドレス： mirai@jaec.org
- メールタイトル：【所属学校名】未来の畜産女子育成プロジェクト申込（教員）
- メール本文内に以下の事項を加えてください
 - ア. 引率希望者（教員）氏名とふりがな
 - イ. 所属高等学校とふりがな
 - ウ. 引率希望者（教員）ご連絡先（緊急電話番号、E メールアドレス）

作成いただいた書類の原本は、研修に参加が決まった方のみ、6月10日（月曜必着）までに協会に郵送してください。

(4) 募集期間

応募の締切日時は令和元年 5 月 24 日（金）午後 3 時迄の E メール必着です。

(5) 研修参加者（生徒）及び引率者（教員）の審査

① 書類審査

提出の書類をもとに審査を行います。

② 口頭確認

- 書類審査により更に確認を要すると認められた場合は、電話による口頭確認を行います。
- 口頭確認は、5月27日（月）から5月31日（金）の間で実施します。
- 研修参加者（生徒）の口頭確認を行う場合、協会より様式5の推薦書に記載のある「研修参加者担当教員」に連絡し、引率者（教員）には直接連絡します。

(6) 結果の通知

- ① 結果は6月3日(月)にEメールにて所属高等学校に通知します。
- ② 研修参加者(生徒)については様式5の推薦書に記載のある「研修参加者担当教員」宛てに、また引率者については本人宛てにEメールにて通知します。

6. 参加費用(研修参加者が負担する費用)

(1) 研修参加者(生徒)

下記以外の費用はすべて本プロジェクトで賄われます。

- ① 個人的経費
- ② 現地研修出発時の自宅～集合地、現地研修帰国後の解散地～自宅の往復交通費

(2) 引率者(教員)

個人的経費以外の費用は本プロジェクトで賄われます。

7. 研修参加者担当教員の交通費・日当・宿泊

研修参加者(生徒)の畜産アンバサダー活動サポート等を行う担当教員は、事前研修への同行及び協会が実施する所定のプログラムに参加することができ、その交通費、日当、また必要な宿泊については、本プロジェクトで賄われます。

8. 交通費・日当・宿泊について

協会が実施する所定のプログラムに参加をする研修参加者(生徒)、引率者(教員)、研修参加者担当教員は、交通費・日当・宿泊が、協会の規定に従って支払われます。交通費の始点は、様式1申込書内記載の「最寄駅」から算出します。ただし、支払額には、10.21%の源泉徴収税控除があります。

支払の詳細等については、6月3日(月)結果通知の際に参加決定者にご案内します。

9. 辞退

- ① 都合により参加を辞退する場合、研修参加者や保護者から直接連絡するのではなく、所属高等学校の研修参加者担当教員が辞退の理由を明確にし、電話又はEメールにてその旨を速やかに協会に通知してください。
- ② 辞退の時期により、万一当事者に関わるキャンセル費用が発生した場合、その実費は自己負担となります。

10. 研修の日程、宿泊先、内容等

(1) 事前研修

●期間：令和元年6月17日（月）～6月19日（水）

●会場：国立オリンピック記念青少年総合センター

東京都渋谷区代々木神園町3-1

| 日次 | 月 日 | 曜 | 時 間 | 内 容 | 備 考 |
|----|-------|---|-------|--|--------------|
| 1 | 6月17日 | 月 | 13:00 | 集合@国立オリンピック記念青少年総合センター棟513 オリエンテーション (事業説明、研修参加者自己紹介等) | オリンピックセンター 泊 |
| 2 | 6月18日 | 火 | | 関係機関表敬訪問等 | オリンピックセンター 泊 |
| 3 | 6月19日 | 水 | 12:00 | 渡航手続き、待機期間中の準備事項等 解 散 | |

※内容は、都合により変更となる場合があります。

(2) 現地研修

期間：令和元年8月19日（月）～8月29日（木）

場所：ニュージーランド国

| 日次 | 月 日 | 曜 | 発着都市名 | 時 間 | 内 容 |
|----|-------|---|------------------|----------------|--|
| 1 | 8月19日 | 月 | 成田国際空港 発 | 14:00 18:30 | 空港特別待合室に集合 出発前オリエンテーション ニュージーランド航空90便 成田(NRT)⇒オークランド(AKL) 機内 泊 |
| 2 | 8月20日 | 火 | オークランド 国際空港 着 | 8:05 | 到着 専用バスで滞在先に移動 受入式～ファームステイ先に移動 |
| 3 | 8月21日 | 水 | | 午 前 午 後 | オリエンテーション 英会話授業、農業講義 |
| 4 | 8月22日 | 木 | | 終 日 | 英会話授業、農業講義 |
| 5 | 8月23日 | 金 | | 終 日 | 英会話授業、農業講義 |
| 6 | 8月24日 | 土 | | 終 日 | 農場訪問、発表演習 |
| 7 | 8月25日 | 日 | | 終 日 | 農場訪問、発表演習 |
| 8 | 8月26日 | 月 | | 終 日 | 農業視察 |

| | | | | | |
|----|-------|---|---------------------------------|-------------------|---|
| 9 | 8月27日 | 火 | | 終日 | 農業視察 |
| 10 | 8月28日 | 水 | | 終日 | 農場視察 オークランド 泊 |
| 11 | 8月29日 | 木 | オークランド 国際空港発 成田国際空港 着 | 8:55 16:50 | ニュージーランド航空99便 成田国際空港から東京都内の帰国時 研修会場に専用バスで移動 東京 泊 |

※内容は、都合により変更となる場合があります。

1.1. 帰国時研修成果報告会及び研修報告書の提出

- (1) 帰国後の令和元年8月30日に東京都内の研修会場で、研修成果報告会を行います。
- (2) 現地研修が終わった後、研修報告書を作成し、令和元年9月27日までに、協会に提出していただきます。

1.2. 報告書の取りまとめと製本、配布

- (1) 協会は、研修の成果を関係機関や研究機関にて広く利用してもらうために、参加者の研修報告書を基に取りまとめます。
- (2) 報告書は、研修参加者、全国の農業高等学校、関係機関等に配布します。

1.3. 畜産アンバサダー活動

- (1) 研修参加者は、畜産アンバサダーとして、所属高等学校内外における研修報告会等を通じて担い手の確保、畜産現場における女性の活躍推進をテーマに研修成果の積極的な普及活動を行います。
- (2) 本活動は、研修参加者が所属高等学校にて最低1回、協会主催の国際化対応営農研究会にて1回実施します。また、出身地域や、畜産関連団体等からの要請によっても実施できます。
- (3) 本活動を行った際には、その都度、所定の報告書を作成します。
- (4) 各活動においてアンケートを取り、活動の効果を計ります。

1.4. お問い合わせ先

本プロジェクト応募に関する問い合わせ先は以下の通りです。

公益社団法人 国際農業者交流協会
 未来の畜産女子育成プロジェクト担当 (石原 / 皆戸^{かいと})

住所 (郵送物宛先)

〒144-0051

東京都大田区西蒲田5丁目27番14号 日研アラインビル8階

公益社団法人 国際農業者交流協会

未来の畜産女子育成プロジェクト担当 行

- 電話 03-5703-0252
- FAX 03-5703-0255
- Eメール mirai@jaec.org